



サカタニ友の会ニュース

いざ討入りぞ

総選挙



衆議院が解散された。衆院選は12月2日公示、14日投票の日。衆院解散は10月11日、16日、民主党政権の野田佳彦首相(当時)が行って来つた年ぶり。

安倍晋三首相は今年4月の消費税8%の引き上げ以降、経済が低迷していることで、来年10月予定の10%の引き上げを1年半先送りすることを決めた。衆院選では、政権の経済政策「アベノミクス」継続の是非のほか、集団的自衛権の行使容認などが大きな争点となる。解散日の毎日新聞が書いていた。

その日は、奇しくも12月14日。元禄15年(1708)お江戸で仇討ち事件。場所は江戸両国は松坂町、回向院裏の吉良邸。大石内蔵助良雄率いる播州赤穂浅野家の浪士達が吉良上野介の屋敷に「討ち入り」、その首級を挙げたといつおなじみの忠臣蔵の日だ。ふと気が付いた。三百十五年後の同じ日が、衆議院議員投票日となった。

発行者
株式会社サカタニ
集西楽サカタニ
ファミリーマート
サカタニ京阪七条店
〒605-0993 京・東山区七条こころ坂
・075-561-7974
URL www.sosake.jp/
E-mail info@sosake.jp
毎月発行の
会員新聞です
編集・酒谷義郎
vosirou@sosake.jp

開催日 11月16日(定例第3日曜日) 朝9時~
第116回 **朝粥食べておしゃべり会**
報告者：丹羽 潤 様



朝粥食べておしゃべり会 恒例・食前のお話... お題 地域にながりと ひかりを

本日の講演は、株式会社カスネット代表取締役であり、社会貢献室長を務められる植木力(うきま)さん。

「小さな企業とのソーシャル・ビジネス」(川本卓史氏との共著)も出版されるほどの、京都で起業して世界に羽ばたく社長さんです。

「は、楽器のカスタネットではなく、カスタマー(顧客)をネット(ネットワーク)でつなぐ」と言う意味で命名されています。

時の退職金(ご本人談) 上増しはなかったそうです笑)を 資本金として設立されました。現在も続く「社内ベンチャー制度」の第一号のこと。

本業は又戻員などの通信販売ですが、ボランティア活動にも積極的で、「カスタくん」というキャラクターを通して情報を発信したり、東日本大震災では被災地域へ車を贈ったり、特に障がい者への支援にも積極的です。さらに、カソボシアのトレア小学校へ校舎を建てて贈るなど、支援に限りはありません。

創業から現在まで、多額の借金を抱えて「家族離散」が頭をよぎった時期もありました。が、弁護士(堀田丹(つとむ)さん)の奇跡の出会いなどもあり、今では「社会貢献に積極的な会社」として、今後ますますたくさんのお客様に支持される会社になると確信致しました。

「公私の区別」 私(丹羽)の店は9月末が決算締めました。本年は店舗工事関係等で「赤字」決算になりました。42年前に会社を引継いだから三度目の赤字、何れも仕事に絡みが原因です。

京都洛中で酒蔵は二つ、その一つが上京区佐々木酒造さん。
大 鴨川を美しくする会の応援酒
【京都の地酒】 佐々木酒造 美しい鴨川 純米 一升瓶
「美しい鴨川」は京都酒造組合の共同銘柄で、鴨川の清流水に感銘して、売上の一部を「鴨川を美しくする会」に寄付しています。
181-2044 丹
720-E11049 丹

どんつき 衆議院解散、それも寄りにも寄って寄ってクソ忙しい師走の選挙。お坊ちやまは何考えとるんや!。 今日テレビで観賞用の花農園が、白い胡蝶蘭を増産している姿を報じた。選挙の当選祝い用の大増産しているのと知った。そんな所は例外だと思っ。

太陽の照る時間が年に一番少ない冬至。お師匠さんまでが走るから月の名になった師走12月。お歳暮の時期でもあるし、商売人は特に忙しい。 あつてつが。お歳暮は買っただけで出したことがないだろう。モットもつと書きたらいいとはあるが、「こら」で止めとつ。選挙違反になりそう。

アツと言つ間に「募金」が集まると本年1月16日に京都東山区馬町に「馬町空襲の地」と刻した石碑が建立された。69年前の爆弾が落とされた地に。 当時、国民学校5年生だった私もB29の爆音と、爆弾の音は聞いた。翌朝、馬町にと知る。戦時中で情報規制され二コスはムがらなかつた。

今回の特定秘密の保護に関する法律も同じような役目を果たすのではなからうかと心配だ。日本が急速に右旋回をして来たよつな気がする。 来年は、敗戦後70年。1894年(明治27)から1945年(昭和20)迄50年戦争の時代だった。それより長く平和が続いている。永久に平和であれと祈念する。

ミシィちゃん ひつじつ



12月8日は 大詔奉戴日

大詔奉戴日(大詔奉戴) 日なんて聞いたことない人が多く、思っ、既に、日中戦争は起っていたが、1947年(昭和16)12月8日、昭和天皇が采英に対して宣戦布告の勅語を発せられた日である。

その勅語(大詔)を讀んで聞くと(奉戴)日として1945年(昭和20)まであった祝日である。祝日ではないが、12月以外も8日は「奉戴日」として、講堂に全校生が集められ、「奉安殿」から教頭先生が運び出した御眞影(ごしんえい=陛下のお眞影)を校長先生が壇上奥の場所にお納めし、勅語を讀み上げ、君が代を歌って式典が終る。「奉安殿」は、校門の近くに、小さな鉄筋コンクリートで出来た神社風の楕円型建物で、天皇皇后の眞影が厳重に保管され、生徒、児童は登下校の際には脱帽して最敬礼を命じられた。

私たちの世代は戦時学童疎開や戦後、学校制度が六・三・三制に代わる等で振り回され、戦時中に国家政策を忠実に教えた先生が、米軍の命令で急に教職追放され先生のいよいよ授業も有った。私が疎開地から戻ったのは10月10日。その翌日に共産党の徳田球一、志賀義雄がGHQの命令で一八年振り刑務所から釈放された記事を読んだ。当時、私は11歳だったので

生まれる七年前から今まで十八年も監獄...と驚いた。殆どの人が戦争に協力していた時代の中でも反対していたことに感動もした。その後1947年2月1日午前零時を期して官公庁労働組合を中心に計画されたゼネストライクが、米軍の介入で中止決定を報告するエネストライクで「歩後退、一歩前進」と涙声で中止を告げる伊井弥四郎氏の声も記憶の中にある。これらの事が身体も気性も弱い少年だった私の青年時代や後の人生に至るも大きな影響を与えたかも知れない。

小、高の同窓生は会うとお前は変わったな...と。そこかも知れない。このとんからりんも15年続けているが青年時代のことは稀にしか書かない。地獄行つても言えないとは省いてホチボク書こつた。

大詔奉戴日 中野軍曹の 従軍記録と 写真等展 12月8日(月) 午後2時~6時 9日(火) 午前10時~午後7時 場所:ファミマ...サカタニ2、集西楽、西スペース 西陣に住む友人(高校同窓生)の感から出てきたの父君の昭和3年(昭17)年まで伏見師団で従軍された時の従軍時記録(巻紙6米に毛筆で記した)や写真、勲章等展示します。

大詔奉戴日 中野軍曹の 従軍記録と 写真等展 12月8日(月) 午後2時~6時 9日(火) 午前10時~午後7時 場所:ファミマ...サカタニ2、集西楽、西スペース 西陣に住む友人(高校同窓生)の感から出てきたの父君の昭和3年(昭17)年まで伏見師団で従軍された時の従軍時記録(巻紙6米に毛筆で記した)や写真、勲章等展示します。

君の行く道は 果てしなく遠い

石動敬子

高校二年のときだったかこの歌を聞き、歌詞を見せてもうった時、そんなんだあ、嬉しかった。私の道といつものがあるのかと、日本地図を見た「マイフナ」旅立ちの歌で奮い立ち知らない町に憧れた。

仙台に飽きたわけではなかったが古典文学が京都へ私を誘った。開通間もない新幹線に乗り、底冷えの京都に着いた時、重い扉が果たして開くと、思えなかった。案の定、受験生ブルースさながら、そんな甘いもんではない。共学の予備校で青春しつつも、再度の受験に備えた。回塊の世代3号で、東大入試中止の時とは不運だったが、幸運にも、京都に迎えられた。

映画「若者たち」を見て感動して

京都大二月祭



又いざなり「母親大会」といふものにも顔を出したり、学内が無期限パリケード封鎖中とあっては、合唱団と女子寮往復、百万遍界隈のかなり普通でない年間だった。

が、しみじみあの6年前後は感慨深いではないか。先日、退職者の会で東山界隈の小春日を散策し、此の辺のなつかしさを異口同音に言われたのが、なんと京都であり、東山なんだなあ、と思った。が、が、が、うちの工書音に驚く。誰が決めたのが、学校統廃合、小中一貫校、新校舎、今えええ、とした余りの過激なスラングアンドビルド。浦島太郎

稲荷山 散策記 越智薫史 稲荷山四つ辻の西村亭前で一休みして左に折れて権太夫社の石段を上り、社を抜けると西に向かふ一帯が見渡せる広場に出る。稲荷山唯一の眺望のぼらし場所である。秋から冬にかけて空気が澄んでいて、きりと京都市内南部や西山が見渡せる。その背、大阪に巨大ビルが出来るまでは、双眼鏡で大阪城が見えたといふ。今は巨大ビル群が淀川の向うにカゲロウのように肉眼で見える。すてき話、枕草子にゆづり三辻から四つ辻にかけて400の石段が

あるといふが、初午の早朝、都を立ち、稲荷山をめざした清少納言は午前5時頃、一あたりでダウンしてた。確かに三つ辻から四つ辻にかけて坂の一番きつ所ではある。四つ辻は別名見付と呼ばれた。南北朝動乱期や応仁の乱に稲荷山が山城であったを残り。この山も同じであるが、稲荷山の四季を通して自然の移ろいを堪能する楽しみは、この上ない。秋はなんといつても紅葉である。お隣の東福寺、ほい、ほい、ほい、が、参道わきのGHM、

京都&東山 ぶらりピカリ

56

東山区 さやまちとおり 鞆町通

この通は鴨川の東側の川端通から数えて2筋目、五条



通から南へ塩小路の下(南)で本町と合わる極短い通り。

現在の鞆町通は、住宅が多く生活道路だが、30年前までは「金物関係のお店や仕事場が多かった。」

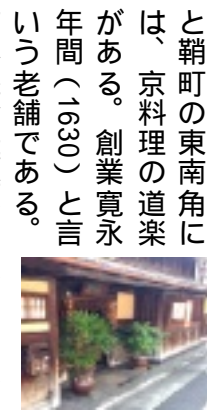
又、左官、大工、屋根の職人さんが多く住む「路地」が多い。子供も多く私に通った貞教国民小(学)

校は8百人を超えていた。元々の辺りは「御土居」

京大仏殿創建は慶長9年(1603年)だから、辺り発展の先駆けのお店。この道梁の東(本町正面)に「大仏餅(田家)」が昭和30年代まであった。今有れば「重要文化財」に指定

「正面」も大黒町通も正面通り以南は、塗師屋町通りとなっている。棟梁・鐘鏝・瓦役町等がそつだろ。恐らく刀鍛冶・刀の鞆師、塗師、大工棟梁が住み着き発展してきたのだろ。又、酒蔵も多く、昭和初期では五つ。私が覚えている銘柄は「姫小松」「月代(つきしろ)」と「開花一」である。一蔵は廃業されたが「開花一」の京都吟蔵有限会社は、5代目当主中村宇吉氏

が、日本酒を寝かせて熟成させる製品「京風味」を考案。更に「酒造りに従事する杜氏・蔵人たちには健康な人が多い。これは何か酒造りの作業の中に、不思議な現象があるのではないか。」研究されてユナルゲンB・A・ユナホルモンを開発販売され酒造を廃業され株式会社ナカムラ酵素(鞆町五条下)として大盛業注である。又、正面



市電が走った 京都を巡る

46



河原町丸太町を出発した市電

電は丸太町通を西へ向かいます。先号で紹介した私の出身学区にも当たり、小さい頃から行っていた理髪店など、馴染みの店も続きます。南側にあるクラシッくな建物は京都中央信用金庫の丸太町支店です。元の第一銀行丸太町支店、昭和二年の建築です。茶褐色のタイル張りの落ち着いた建物ですが、偶然か、隣り合う老舗のお菓子店も同色に仕上げられており、街並みの調和を見せています。

やがて、寺町通と交差します。明治の時代にさかのぼると、寺町通にも、市電と同じスタイルの京都電鉄(京電)の電車が走っていました。京都駅前から木屋町通を

まっすぐ北上した出町付近が終点でした。もうひとつ、この寺町丸太町で西へ曲がるポイントがあり、丸太町通を西へ走り、府庁前を経由して、北野天満宮前へ行くルートもありました。これらは、京都市電とは別の狭軌の京電路線でしたが、京都市電に吸収されることになり、二つの鉄道が市内に並列する時代は終わります。

さて寺町通を過ぎると京都御苑(御所)の南側を走ります。市電が走る前の地図を見ますと、御所は現在の丸太町通の南側歩道まであり、丸太町通はごく狭い道でした。御所を少し削って丸太町通を拡幅し、京電(のちに市電に吸収)が走り始めたのは大正二年のことです。

やがて到着するのが「裁判所前」の停留場です。文字どおり、南側には京都地方裁判所があります。市電時代の裁判所は、大正十一年に造られた煉瓦造りのクラシッくな建物でした。前庭を入れて、御所の緑をバック写真を撮ることもできましたが、その分建物が引込んでいたため、建物と市電を入れて撮るのは困難でした。市電廃止後に建て替えられますが、陪審法廷は、立命館太字末川博記念館に移設・保存されています。北側は人家のない御所ですから、乗降客は少なく、朝に運転の急行運転も通過扱いでした。



夕方の裁判所前停留場を発車した市電



堺町御門を見て御所の横を走る市電

南側には、小さな商店が並びます。さすがに御所の前だけに、宮内庁御用達の老舗も見受けられます。そして、弁護士事務所や代書

私、皇族方のお出ましを小さい時から出迎えたことがあり、いまも印象に残るのは、いまの天皇陛下が結婚された直後だっ

たと思います。初めて京都へ来たときに、堺町御門で出迎えたことを覚えています。ミッチー

そんな小さな頃を思い出させてくれる裁判所前でした。

酒屋で生きて 生かされて



第九十七話 敗戦後、昭 酒卸に転業

24年(1949)

にもなると物
資の配給制度

がなくなり、統制、自由販売に移
行してきた。戦時中「企業整備」
で強制廃業させられた「酒屋」さ
んも申請すれば酒販売免許が元
戻った。同時に酒小売店でも、大
蔵省の基準をクリアすれば「酒類
酒卸免許」が申請できる様になっ
た。戦時中に創られた「酒の統制
会社」は民営化、戦前の「大酒問
屋」には「甲・卸免許」がだされ
ていた。

甲と乙の差は酒税の納め方にあ
る。甲は、酒税納税義務者、乙は
蔵元や製造者が酒税を納めた物
を「仕入れ」て卸売りをする形式。
当時は、酒税は国家財政の大きな
部分を占めていたので、安全な確
保を優先したのだと思つた。

酒卸は、販売先は酒免許の有る
店(酒屋)にしか販売できない仕
組み。それまでの酒小売と居酒屋
が出来なくなるので反対でしたが
父は酒卸免許を申請し、翌年春の
全酒類卸免許を得て、「酒谷本店」
の名称で酒卸事業に転換した。
酒卸免許は京都府内で30店が許可さ
れた。(東山区5店)ビールは祖父
がユニオンビールに力を入れて居
たので、その流れで「朝日麦酒
(現アサヒ)」と特約。清酒は
「菊正宗・富久娘」などを酒小売

写真・酒卸時代
店内「トロツコ」線路有



店に卸売りを「店内にトロツコを敷かれたがこ
「内整理」。同時期に、中京区の
始めた。又、祖父の代に販売
していた「神馬」の銘柄を復活さ
せ、販路を復活させた。事業は好調
に伸び、店を改築し奥の蔵まで
その改装の話をごとこで聞かれ
たらしく、父が陸軍時代の戦友が
お出でになり、私も挨拶をした。
「息子さんが、そんならあんたも
私の話を聞きなはれ」で父の片腕
に座った。その方は、いきなり起
こり、お得意先を失い私の店は
「一年後、多額の「横領事件」が
と引き寄せたら逃げるけれど、反
対の向つ側に押したら戻ってくる」
のベルの音は聞こえるかな？
もしもベルの音が聞こえたな
ら、幸せな一年が待っている
はずだよ。
いい子にしているね サンタ
トナカイのベルの音は、実
は聞こえる者と聞こえない者
がいる。年齢は関係ないけれ
ど、要はこのころの問題なのだ。
ここらに汚れが無ければ、い
つまでも聞こえる。それはそ
の者の幸福の証であり、サン
タが目印にしている小さな灯
火なのである。
私は二通目を手にとつて広
げた。
「こんにちは、サンタさんは
本当にいますか？お父さんと
お母さんには、いないと言わ
れましたが、僕は信じたいで
す。お返事下さい」
「こんにちは、お手紙ありが
とう！
君がこの手紙を開けてくれ
たということ、信じてくれ

クリスマス の夜



月二天

一年の中で、最も夜空が賑
やかな日。天空をソリと共に
駆け抜けるトナカイのベルが
高鳴りするのだ。よく聞くと、
一つ一つベルの音が違い、一
グループの音色が調和するよ
うに組み合わせられているこ
とが分かる。そして、私の元
には、今年も様々な質問がやっ
てくるのだ。

私はサンタ宛てに届けられ
た山の様に積まれている手紙
の、一通を手にとって広げた。
「こんにちはサンタさん。
質問が有るのですが、サンタ
さんは私の所に来ますか？」
この質問に対しては、いつも
こう回答する。
「こんにちは、お手紙ありが
とう！クリスマスにトナカイ

るかな？もしも、クリスマス
の朝に枕元にプレゼントが無
くて、金色の粉が撒かれて
いるはずだから、確認してみ
てね。それは心地よく眠れる
ための粉なんだ。一年間、い
い夢をプレゼントさせてもら
うね！サンタ」
サンタの所で造られている
物は、枕元に置かれた瞬間、
粉に変わる。その粉は悪夢や
危険から守ってくれる。一年
間の強い御守りとなるのだ。
さて、三通目・・・
クリスマス前まで、一日の大
半、私はせっせと手を動かす。
たまにお菓子や飲み物を、
たまに御茶やコーヒを嚙り
ながら、白い巻き毛と髭は伸
ばしつばなしになるけれど、
たまあに妖精た
ちが不揃いに切っ
てくれる。
これが、白髭の
太ったおじいさ



「こんにちは、お手紙ありが
とう！
君がこの手紙を開けてくれ
たということ、信じてくれ

編集後記

期末決算締
めに手間取り

「とんからりん」作成が遅れ更に
月末は遠方行く。29日配布と
「投稿者に無理を言つて協力
戴いた。感謝 感謝 感謝 感謝
前月から、「とんからりん」に
「投稿で下さる方がお一人様
増えて今は各様に支えられて
いる。有難い」とこの上なし。只、
叫んでも山びこは殆ど聞こえな
いサンケン。
「とんからりん」は、わがザカ
タ「友の会」年会費を頂いた会員
様にお配りしている。毎年3月
末に更新で今年11月でも前
年数に至らないサンケン。
個人的な「友達」は、そう多く
ない。だが、あいつが居るから」と
心の支えになる深く長く付き合
う友は多い。去年今年と年上の
二人が亡くなった。サンケン。
「とんからりん」の前身「まいど」
の名で平成7年4月新聞風の
ものを発行した。途中休刊
や隔月の時もあったが、今も続
ける。サンケンでなくヨリタなぞ。
フエマツグの友達に100歳近
いお方がある。格調高く、豊か
な文を書かれてる。素質の差
が歴然として、教えて戴けるこ
とが多い。友達になれてヨリタ。

本年1月16日、馬町空襲の
地「と刻した碑」が建立できた。
取り組んで1年。爆撃から70年
の来年同日に献花式を行う。
ヨリタでなく是非来てね！
何もなくても忙しなく師走に
安倍総理が国会解散した。アベ
ノミクスと言うものを引き上げて
棄権しても「結果責任」は全ての
国民が負つことなるサンケン